

3. 当日のコメント

■学校法人玉川学園 小原芳明 理事長 コメント

このたび、株式会社ベネクス様との包括連携を通して、本学園のスポーツの推進、学生・教職員への「休養学」普及の機会を頂戴できますこと、御礼申し上げます。

本学園では、創立以来「全人教育」を教育理念に掲げ、豊かな人間性を育むために「学問（真）、道徳（善）、芸術（美）、宗教（聖）、健康（健）、生活（富）」の6つの価値観をバランスよく身につけた人材育成に取り組んでまいりました。

2022年度には、6つの価値のうち「健」の教育をさらに進化させる役割を担う組織として、「玉川アスレチック・デパートメント」を新設し、大学スポーツの強化と普及、スポーツブランド確立と優れた学生アスリートの輩出を主な目的として事業を展開しております。また、学外との連携を強化し、大学スポーツを通して社会に貢献ができる人材を育成することも教育機関の大きな使命であると考えております。こうした目的を達成するために、「玉川アスレチック・デパートメント」が中心となり、スポーツに関わる事業を展開する学外の機関に協力をお願いする中で、このたび株式会社ベネクス様をご紹介いただきました。

本学園には、大学の体育系クラブが31クラブあり、競技力強化を目指して活動しております。選手が、より高いパフォーマンスを発揮するためには、「運動」「栄養」と共に「休養」が重要な要素であることを私共も改めて認識し、ぜひ、本学園の学生や教職員に「休養学」を普及していきたいと考え、株式会社ベネクス様との包括連携協定を締結させていただくこととなりました。

既に本学園においても、体育科教員が昨年「休養学」に注目し、「攻めの休養」を推奨しながら、体育系クラブの指導を行っている事例もあります。今後は、体育科教員とも連携しながら、株式会社ベネクス様のご協力・ご支援のもと、スポーツに励む学生のさらなるパフォーマンス向上と社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。

■株式会社ベネクス 中村太一 代表取締役 コメント

このたび、学校法人玉川学園 玉川アスレチック・デパートメント様とのご縁を頂きまして相互で連携・協力事業を推進することに合意し、「休養学」の啓発によって皆様を「休養」面でサポートさせていただけること、大変光栄に存じます。

今回当社が提案する、「攻めの休養」がパフォーマンス向上に必要であるという考えが、これからの学校スポーツにおいても大切になってくると共感いただいたことから、連携が実現しました。

当社では創業以来19年間、健康のための3要素「運動」「栄養」「休養」のうち「休養」を専門に研究し、リカバリーウェアの開発をはじめ、スポーツチームやアスリートに対して休養学に基づいたサポートをしてまいりました。当社アンバサダーの皆様からよく聞かれるのは、「学生の若い頃からリカバリーを意識できていればよりパフォーマンスの質も変わっていたと思う」ということ。当社としても、「休養」が長くスポーツを続けるための鍵になると考えています。玉川学園 玉川アスレチック・デパートメント様との連携によって、学生の皆様へ心や体のマネジメントに「休養」を取り入れ、最高のパフォーマンスに繋げていただけるよう伝えてまいります。

また、今回の学校スポーツと地域社会という繋がりが学生の皆様の選択肢・考え方を広げ教育にも貢献できればと考えています。



学校法人 玉川学園
Tamagawa University & Academy

